

平成19年度 事業評価書

地 域 名	島根県出雲市	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	出雲市環境と経済の好循環のまちづくり協議会				
モデル事業名	森林環境再生起源事業～地球環境の再生を出雲から～				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H16年度	普及啓発事業として、地球温暖化防止のための研修会等を実施した。
		H17年度	普及啓発事業として、新エネルギーの啓発イベント、自然体験教室等を開催。また、木質バイオマスガス化発電設備に関連し、バイオマス利用・啓発キャンペーン事業を実施した。
		H18年度	18年度事業繰越のため、委託事業は実施していない。
	事業完了後	H19年度	事業完了後であり、事業は実施していない。尚、市民を含め、本事業で整備したバイオマスプラントに関心のある方々の見学等は随時受入れ、説明等を実施。
交付金事業	事業期間	H16年度	木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第1期工事を実施。
		H17年度	木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第2期工事を実施。
		H18年度	木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第3期工事を予定していたが、平成19年度に繰越。
	事業完了後	H19年度	事業終了後のため、事業は実施していない。尚、平成18年度に実施予定であった木質バイオマスガス化発電設備のガスエンジンの搬入及び据付工事は、本年度に繰り越された。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>木質バイオマスガス化発電設備を整備し、その原料となる木質バイオマスは市民による持ち込みを計画するなど、地域ぐるみの取組を目指しており、今後の事業の進展に期待したい。</p> <p>新エネルギー導入をめざす21世紀の地域戦略の中で、木質バイオマスガス化発電の施設設置と市民啓発を明確に位置づけており、継続的發展を期待する。</p> <p>ソフト事業については、イベントに偏りすぎているため、普及啓発の方法を工夫されたい。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目 標 値	-	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	-	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
	<p>・木質バイオマスガス化発電設備 全く機能していない。木質バイオマスガス化発電設備の設置が完了し、平成20年度以降、本格的に稼働する予定である。</p> <p>発電に供する木質バイオマスについては、豊富な森林資源を生かし、森林管理との連携を図る等によって、高い事業効果となるよう期待する。</p>		
③経済活性化効果	<p>・木質バイオマスガス化発電設備 全く機能していない。導入後は、発電能力が向上し、効果を見込める。</p>		
④その他	<p>当初計画において、バイオガス施設では材料を民間で集める仕組みづくり等を想定しており、評価できる。設備の問題を解消し、自主事業を再開する等の努力を期待したい。</p>		